

HOME > コラム > コラム

## コラム

# 認知症全般知識に役立つコラム

認知症学会専門医 占部 新治先生による、「認知症全般知識に役立つコラム」です。第1～第4 金曜更新!

第1章 症状の話 第1節 これも症状  
2項・急な感情の変化が現れる

## 認知症は「忘れる」「できない」だけではない

好きだった魚釣りに誘われたが、億劫な気がして行かない。先月は喜んで行ったのに。怪魚ハンターの番組も録画しようとしなくて床に就く。

何をすることもなく、終日椅子に坐ってテレビ画面を見続けて、時間時間で食事を口に運び、眠くなって床に就く日々を過ごしている。

よく見ていた野球放送を見なくなり、ひいきのチームの話をされても気乗りしない返答である。

誘われて、買い物に付き合っても品物をアレコレ見るわけでもなく、壁際におかれた椅子に坐って連れの買い物が終わるのを待っている。

町内会の寄合にいそいそと出かける夫に懐疑の念を抱き、そっと跡を付けていく。

一緒に行った買い物で、スーパーのレジの女性に夫との仲を疑って問いただす。

あんたのせいでこうなったのよと罵って、ついつい手が出てしまう。

腹が立ったら、真夜中でも相手を起こして煙草を買いにコンビニに走らせる。

家族と話していて、何気ない相手の言葉にカチンときて声を荒げて強く詰ってしまう。  
食事でお代りをして、そんなに食べて大丈夫？と言われて腹が立って箸をテーブルに投げつけてしまう。

話の途中でいきなり怒り出したり、ちょっとしたことで怒る、すぐにへそを曲げる、ヒトをののしったり、感情をあらわに興奮してまくしたてるなど、急な感情の変化がみられる場合があるのです。

## 周囲の人の戸惑い

---

こうなると、周りにいた人達は驚きで戸惑ってしまいます。

何かいけないことを言ったのではないだろうか？傷つけるようなことを言ったのではないだろうか？何気なく知らず知らずに癪に障る態度を取っていたのだろうか？思わず自分の言動を振り返って、思い当たる節が無いか時間を遡って辿ってみる。

だけど、どうも解せない、何を怒ったのだろうか？何に腹を立てたのだろうか？

普通ならこれで思い当たる事柄に出くわすのですが、身に覚えがなく分からないし、しばらく相手の話すことを聞いていても不明。

こういうの経験は、高齢者の方を相手にしたときに、きっと体験されていることと思います。実はこれも、認知症の始まりなのです。